



NPO PTPL “ともいき” 便り No.144

平成30年（2018年）4月5日発行

■清明（せいめい） 平成30年4月5日から4月19日までの節気

4月に入りました。毎日汗ばむようなポカポカ陽気ですが、木々にも若葉は萌え、春を満喫している今日この頃です。

●4月には、入学式、入社式、新学期など期待に胸ふくらませて新しい生活が始まります。

皆さん、よく耳にすると思いますが、3月を年度末、4月を年度初めといわれています。

年度とは、何かの目的のために設定された1年間の区切りであり、4月1日は、新しい年度の始まりの日です。主に公共機関の「会計年度」や「学年の年度」の始まりの日になります。

ではなぜ、1月ではなく4月になっているのでしょうか。会計面からちょっと調べてみました。

江戸時代までは、「年度」という言葉はなく、幕府の台所も、諸国大名の台所も、下々のものの台所もお金のやりくりは暦と同じく正月（一月）に始まり師走（十二月）に終わるというものでした。落語などでは、定番の長屋の連中が大晦日に醤油や味噌、米などの生活必需品の取り立てに、いかにうまく逃げられるかななどの滑稽な話がよく出てきます。まあ、おおらかな時代でしたね。

そして時代は明治になり、当初はその都度、財政状況の都合で年度の区切りが変えられてきたが、1886年（明治19年）に年度を4月1日から翌年の3月31日にすることが定められました。

主な理由としては、

- ① かつての日本は、主たる産業が農業（主力は稲作）でしたから、その収穫時期はもっぱら秋になります。税は物納ではなくお金で徴収しましたから、秋に収穫した米が現金化されてから徴収というのが一番無理のない姿です。ということは、税金の徴収が一段落して、収入がハッキリした段階で、次の「一

年」の予算を定めて実行に移すタイミングとしては、4月頃が都合がいいからという点です。

- ② 当時の日本との関係から重要な国としてはイギリスとアメリカです。会計年度の初めは、イギリスは4月、アメリカは10月です。日本は、当時世界一の経済力を誇ったイギリスの会計年度に倣って4月としたのだといわれているようです。

ちょっと話が長くなりましたが、最後に世界各国はどうなっているのでしょうか。

◆1月から12月：

韓国・フランス・ドイツ・オランダ・ベルギー・スイス・ロシア・タイ王国・中華人民共和国・南米諸国など

◆4月から3月：

イギリス・インド・パキスタン・デンマーク・カナダなど

◆7月から6月：

ノルウェー・スウェーデン・ギリシア・フィリピン・オーストラリアなど

10月から9月：

◆アメリカ合衆国・ミャンマー・ハイチなど

●地図の日

4月19日(木)は「地図の日」です。

1800年(寛政12年)閏4月19日、伊能忠敬が蝦夷地の測量に出発しました。

伊能忠敬は豪商伊能家を継ぎ、50才で隠居後、江戸に出て天文学、暦学、西洋数学等を学び、全国各地を測量し、『大日本沿海輿地全図』を完成させたことは多くの皆さんがご存知のことです。地図の精度は高く、世界に誇れる科学的地図といえるでしょう。

私もだいぶ前に、伊能忠敬記念館を訪れたことがあります。その時はじめて目にした伊能製作の地図と現在の地図がほとんど同じだったことにとっても驚いた記憶があります。伊能が得た知識と当時の測量機材と三角測量という手法だけであれだけの成果を上げた伊能忠敬は、世界に誇れる日本人のひとりといえると思います。

伊能記念館のある佐原(千葉県香取市)は利根川水運の中継基地として栄えた地域で、現在でも川沿いを中心に江戸情緒あふれる古い町並みが残っています。伊能忠敬の佐原在住時代の家のその一角に今でも残っており、自由に見学する

ことができます。

水郷と江戸情緒あふれる街並み、気候がいい今、再度訪れたい町のひとつです。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ともいき・ともうみ・ともさち、そして和。それは日本的なるもの「ジャパネスク」

●「ジャパネスク」、それは私たちの季節感やものの感じ方、宗教的心情やものの見方の根源です。

私たちがいま「ジャパネスク」と呼ぶ感性や美意識は、その結晶です。

それは経済至上主義のグローバル化が進行する現代において、日本の誇るべき伝統であり、わが国の文化と精神の真髄です。

そこにこそ、この国の風土に培われた日本の文化の特長と、日本人の活力があるといえるのではないのでしょうか?失われていく、失ってはならない「ジャパネスク」をもう一度、力強く取り戻しましょう!!

●ホーキンス博士の訃報。

昨日、ニュースで「車いすの物理学者」として著名なイギリスの宇宙物理学者、スティーブン・ホーキンス博士(76歳)の訃報を知りました。

約3年前のことです。私が脳梗塞で倒れる約1か月前のことを思い出しました。

イギリス大使館に生き、博士にこういう手紙を出したいのですが、と相談に行ったのです。「ギリシャ神話」「聖書」と「日本の神話「古事記」「日本書紀」から始まって、私の提唱する「ジャパネスク」について説明し、博士より是非ご意見を伺いたいと相談すると、手紙ができれば大使館にもってきてください、必ず責任を持ってお届けしますが、しかし、ご返事をもらえるかどうかは保証できません、ということでした。

家に帰ってきて、ワクワク、ドキドキしながら手紙を書いたのを思い出します。

しかし、手紙は完成せず、脳梗塞になってしまいました。

脳梗塞で倒れてから物忘れが激しく、全くそのことを忘れていました。

いまになって思うと残念でなりません。もしかしたら協力を得られたのかもしれませんが?!! 至極、残念です。

博士の著書「ホーキンス、宇宙を語る」をもう一度ゆっくりと読みたいと思います。

日本 2018 ジャパネスク

あなたと日本の話をしてみたい。

discover japanesque

勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■事務局便り

●今号 (No144) をもって「ともいき便り」も、満 6 年が過ぎました。これまで続けてこられたのも、多くの方々に読んでいただき、またアドバイスなど頂いたたまものだと感謝しております。

今後とも、なにとぞご支援、ご協力のほど、どうぞよろしく願いいたします。

●是非、NPO PTPL が企画制作運営するサイト・FB をご覧ください。

「NPO PTPL 公式ホームページ」 : <http://www.plantatree.gr.jp/>

「ジャパネスク」 : <http://www.japanesque.tokyo/>

「ともいき暦」 : <http://www.tomoiki.ptpl.or.jp/calendar/2016/>

「タピラス」 : <http://www.tapirus.tv/>

「ともいき ぐらし」 : <https://www.facebook.com/tomoikigurashi>

「おらが富士 計画 ふるさと富士山探し」

<https://www.facebook.com/oragafuji/>

「不思議・驚き・魅力のジャパネスク」

<https://www.facebook.com/japanesque.tokyo/>

NPO PLANT A TREE PALNT LOVE 事務局

〒141-0022 東京都品川区東五反田 2-7-11 東都ビル 201 号

電話 : 03-6432-5911 FAX : 03-6432-5912

Email : info@ptpl.or.jp